

スプラウト代表 松原ゆみさん

納得できる仕事を求め転職を重ね、キャリアアップして独立
経営者として、市民団体の一員として、活躍中

なでしこ力



松原 ゆみさん

店舗・住空間コーディネーター、インテリアコーディネーターとして活躍するスプラウト（名古屋市中川区）代表の松原ゆみさん。一般職で7年間働いた後、インテリア業界に転職し、23年後の2012年に独立。勤務時代の顧客は商業施設が主だったが、独立後は住宅関連がメインとなっている。また、地元地域に寄り添う形で、名古屋市中川運河再生のまちづくりの活動にボランティアとして取り組んでいる。

現在の松原さんの中心の仕事は、建築設計以外の空間デザイン。（具体的には、注文住宅の間取り、外装、内装造作計画、インテリア家具、窓廻り品を含むトータルコーディネート、分譲マンションのインテリアコーディネート、店舗デザイン、改装プラン工事など）。現在、地域密着工務店、大手ハウスメーカー、インテリア商社と提携し、仕事を受けている。

大手のハウスメーカーやデザイン事務所が社内の人材で請け負う内容を松原さんは、大手企業とのコンペに勝ち抜き受注することもあり、その力量は業界では知る人ぞ知る存在となっている。

また、松原さんは2012年から一般社団法人「中川運河チャンネルアート」（任意団体「中川運河チャンネルアート実行委員会」発足2009年）の賛助会員・協力委員として、アートを通して新しいまちづくりに関わってきた。自宅近くにある運河沿いの岡谷倉庫の壁にデジタルかけ軸を投影するイベントで、団体の存在を知った松原さん。プロジェクトの素晴らしさに感動したと同時に、地元で開催されているの

に知らなかった事を目の当たりにし「住んでいる人が関わってこそこのまちづくり」と、同団体に加わった。活動をする中で知り合えた、いくつかの『中川運河助成事業 ARToC10』参加アーティスト団体への協力、運河の港に近い水辺で活動中のドラゴンボート団体にも所属し、活動の輪を広げている。

中川運河助成事業 ARToC10 とは、「中川運河再生計画」2012年10月 名古屋市・名古屋港管理組合 策定）の趣旨に賛同したリンナイ株式会社からの寄附を活用し、中川運河「にぎわいゾーン」の魅力向上を目指し、中川運河を舞台とする市民交流・創造活動につながるアートなどに助成するもの。同団体は、「世界運河会議として、この中川運河を舞台に開催しよう」と『世界運河会議 NAGOYA2020 実行委員会』を立ち上げ4年前から準備。コロナ禍の影響で昨年開催は延期になったものの、同委員の英知を集結し、今年2021年5月に完全オンライン仕様で世界を繋ぎ、会議を成功させている。

松原さんは、仕事のかたわら、出来る限りの